

# 平成29年度 八条中学校学校運営方針

## 【学校教育目標】

「他者と共に自分の未来を切り開く生徒を育てる。」  
～ 自主・自律・共生 ～

## 【目指す生徒像】

自分自身を大切にする生徒  
仲間を大切にする生徒  
仲間のために、仲間と共に行動できる生徒

## 【目指す教職員像】

学校教育目標の達成に向けて  
「確かなビジョンを持ち、自己研鑽を続け、教育実践に誇りを持つ教職員」  
「メンターを意識した教職員集団づくり」

## 【目指す学校像】

生徒・保護者・地域から信頼される学校  
「八条中学校に通えて良かった」  
「八条中学校に通わせて良かった」  
「八条中学校で勤務できて良かった」

## 【重点的な取組】

「授業改善」「仲間づくり」

### 1. 学習活動の場面で

#### (1) すべての生徒が主体的に学ぶ授業の創造

「学びの共同体」のビジョンに基づき、その手法を借りて授業づくり、学校づくりに取り組む。

※授業改善 学びあう授業作り

※「校内授業研修の充実」と「校外研修会」への積極的な参加

#### (2) 「狭義の学力」へのこだわり

学習確認プログラムなどにおいて、本校の平均点の向上を図る

#### (3) 道徳の授業の充実

しなやかで豊かな心を育てる工夫をして取り組む

#### (4) 朝読書の実施

1日のスタートを落ち着いたものにする

## 2. 生徒指導の場面で

- (1) すべての生徒にとっていごごちの良い学級集団を作る
  - 生徒の自尊感情を高める
  - 自己有用感を育てる（誰かの役に立っている）
  - 互いに支え合い、成長し合える集団を作る
- (2) 人・物・時を大切に
- (3) 環境の整備
  - 環境が、教育活動に与える影響は大きい。清掃指導の徹底と教職員が常に環境に対して気配りをする
- (4) 部活動の活性化
  - 活動停止日（原則水曜日）を設け、メリハリのある部活指導
  - 達成感や満足感といった感動を集団で共有する

## 3. 小中連携

昨年度は、本校教員が小学校に出向き一日体験を実施した。小学校での指導や生活を知ることは、連携の軸となる。小学校の研究授業、行事等にできる限り足を運べるよう取り組む。

- (1) 三校連絡会の効果的な運用、学校間事務連携（ブロック会議の開催）
- (2) オープンスクール
  - 小学校6年生を、本校の教職員全員が観察するチャンス。
  - 中学校の授業のスタイルを見てもらうチャンス。
- (3) 夏季合同研修

## 4 特別支援教育の充実

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行された。障害のある生徒の自律や生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行える体制を強化する。  
また、教員の専門性を向上させる。

## 5. 地域を意識した取組

- (1) ふれあい手作りカレンダー
  - 文化祭での展示作品である「地域の貼り絵」をカレンダーにし、地域の高齢者（70才以上）に配布する。本校が永年取り組んでいる行事。
  - （目的） ○地域をあらためて知る。
    - 原画の作成、貼り絵を作る、住んでいる町内のお年寄り（70歳以上）の在宅家庭を調べ、カレンダーを配ることを通して。
    - 「ありがとう」と言ってもらえる体験とする。
    - 直接、間接的に地域の方からお礼の言葉をいただく。
- (2) その他の取組
  - ① 松尾祭への参加（神輿を担ぐ体験）
  - ② 南区一斎清掃（部活ごとに参加）

- ③ 西寺育成苑まつり（準備や後片付けなどの生徒の手伝い・祭りへの参加・吹奏楽部の演奏など）
- ④ 認知症サポーター（2年生取組）
- ⑤ ふれあいトーク（1年生取組）
- ⑥ 吹奏楽部の地域活動・地域貢献  
唐橋区民運動会、唐橋子ども祭り、唐橋防災の夕べ、南大内クリスマスコンサート等
- ⑦ 福祉体験（1年取組）